



# JHSたより

## 観光は平和への パスポート

## 国連世界観光年宣言

学校法人 日本ホテル学院  
発行所／専門学校 日本ホテルスクール  
財団法人 日本ホテル教育センター

平成23年2月4日(15,000部)発行

2011.2 Vol.41

〒164-0003 東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)  
<http://www.jhs.ac.jp> <http://www.jec-jp.org/> FAX.03-3360-8584

# アメリカ研修生制度へと発展的に

～2010年度20名の新卒者が赴任～

ヒルトン・アナハイム、ヒルトン・グアム、シェラトン・グアム



"Sheraton Laguna Guam Resort"研修生の皆さん  
前列左から：鈴木 緑美さん 篠原里沙さん 下津 愛子さん、吉村 京子さん  
後列左から：今野 智崇君、川崎 沙苗さん 佐藤 真奈さん、加藤 洋平君

1993年、ヒルトンコーポレーションの支援で「ヒルトン研修生制度」を発足、2009年度までの16年間に、通算292名、年平均18名の新卒者を全米各地の17ホテルに派遣してきましたが、時勢変化の中で、経営者の変更と共に方針も変わり、同本社が一括して配置することから、個別のホテルとの連携による派遣に変更し、2010年度から「アメリカ研修生制度」へと発展させています。

これだけの数の新卒者を1年間アメリカのホテル会社が日本から継続して受け入れた前例も、ビザの関係から、無かつただけに、貴重な職場体験を得て、英語のみならず、異文化理解、考え方の違いを実践的に体験し、多くの人達が国際的な視野を養うことができました。1年間の研修終了後も、その評価は高く、内外のホテルで活躍しています。

2010年度からは、ロサンゼルスのヒルトン・アナハイムで1名、日本の「ケン・コーポレーション」のご支援により、グア



左から：黒須（健三郎先生）、武内（悟先生）、  
ケン・コーポレーション  
吉野（速人取締役社長）、柳澤（建取締役）、  
石塚（勉校長）

ムの「ヒルトン」と「シェラトン」の2ホテルで19名がお世話になっています。同グループは、高級不動産の総合コンサルタント会社で、ホテル事業として海外10ホテル、国内13ホテル、特にグアムでは、「ヒルトン」、「シェラトン」、「ハイアット」、「ホテルニッコー」、「P I C」の5ホテルをマルチブランドで展開しており、グアムの最大雇用企業となっています。

今回、こうした研修生制度の大きな転換期でもあることから、石塚校長、黒須教育部長、武内室長の3名が現地を訪問、現場視察をして現状確認、責任者である吉野速人取締役社長と柳澤 建取締役、総支配人、人事責任者らとさらに将来の長期の協力関係について話し合いました。



"Hilton Guam Resort & Spa"研修生の皆さんと先生方  
前列左から:石塚 勉校長 小公美貴さん 武城彩さん 黒川 美沙さん 三藤部翔一君 路清さん 武内信先生  
後列左から:高島嘉麗君(相内) 村奈香正さん 村木 舞さん 有地美咲さん 黒須健三朗先生 小松 彩香さん 藤本 龍希君

創立40周年を迎える

11月11日(金)全体同窓会を予定

校長 石塚 勉



今年で本校も創立40周年を迎えます。1971年創立、1972年プリンスホテルスクールとして現在のグランドプリンスホテル赤坂敷地内で開校しました。その後、1976年新設の財団法人日本ホテル教育センターが継承、日本ホテルスクールへ名称変更、1986年東京都の認可を受けて財団の運営する専門学校日本ホテルスクールへ、更に2009年財団から分離、新設の学校法人日本ホテル学院の運営する専門学校日本ホテルスクールとなり、現在に至っています。

この間、赤坂～三田～麻布十番～東中野～落合へと4回の移転をしましたが、当初160名でスタートした本校も、18年前の1993年から学生数1000名、ホテル学校の単体としては、日本では最大規模、世界的にも最大級の規模へと成長してまいりました。

これも偏に監督官庁を始め、関係団体、企業、学校関係者、卒業生、保護者など、多くの方々からご協力とご支援を頂いた結果であると大変感謝しております。5年おきに卒業生中心で開催してきた全体同窓会＝創立記念式典には、卒業生総数の約25～30%、一番多い時には約1200名に参加いただきました。今回の創立40周年は、業界関係者も含め約1500名規模の参加を予定しています。式典を11月4日、全体同窓会を11月11日に決定。これから同窓会理事、幹部の皆さんと一緒に具体的な企画を進めてまいりますので、ご期待ください。

## 第19回“弁論大会2010”開催 業界トップの方々を特別審査員にお招きして

～最優秀賞、日本語部門は岩渕 絵里香さん、英語部門は武井 ひかりさん～

11月10日、中野の“なかのZERO大ホール”において、第19回弁論大会が盛大に開催されました。当日は、激戦だった予選（日本語部門21名、英語部門17名）を勝ち抜いた10名の学生が日本語部門、英語部門に分かれて、全校学生、保護者、教職員など約950名の前で熱弁をふるいました。審査には外資系ホテルの総支配人など業界トップの方々16名が当たるなど、学校レベルの弁論大会としては異例の規模の大会となりました。

大会は厳正な審査の結果、日本語部門の最優秀賞は、夜間部ブライダル科1年の岩渕 絵里香さん、英語部門の最優秀賞は、昼間部英語専攻科2年の武井 ひかりさん

が獲得し賞状と記念の盾が石塚校長から手渡されました。また、副賞として最優秀賞の2人には、パークハイアット東京より「ランチ招待券」、優秀賞には、フォーシーズンズホテルより「アフタヌーンティ招待券」が贈られました。



## 第28回“全国専門学校英語スピーチコンテスト” ～呉 禮暉さんが優秀賞受賞の快挙～

12月6日、第28回“全国専門学校英語スピーチコンテスト”が中央区立日本橋公会堂で開催され、本校から国際ホテル学科英語専攻科1年の呉 禮暉さん（韓国出身）が出場

し、本校初となる「優秀賞」を受賞しました。このスピーチコンテストは全国の語学・ビジネス・観光系の専門学校から選抜された12名の代表が様々なテーマを英語でスピーチし日頃の語学学習の成果を披露するものです。

呉さんは「観光立国への道」=The Way to Become Tourism Country=をテーマに、日本が目指す観光立国にスポットを当て力強いスピーチを行い、語学系学校からの出場

### 「審査結果」

「日本語部門」

最優秀賞 岩渕 絵里香さん

“演劇で接客業界の未来を変える”

優秀賞 江原 晴香さん

“サービスチャージ革命”

「英語部門」

最優秀賞 武井 ひかりさん

“Overcoming Difficulties”

優秀賞 鹿野 真美 ジュニさん

“As a Hotelier in Japan”

### 弁論大会 審査員

グランドハイアット東京

総支配人 Mr. Christophe Lorvo

パークハイアット東京

総支配人 Mr. Philippe Roux-Dessarps

株式会社MT J-ホスピタリティ

代表取締役 田中 勝 様

ラディソンホテル成田

総支配人 Mr. Brent Bailey

六本木ヒルズクラブ

総支配人 Mr. Per Kredner

シャングリ・ラ ホテル 東京

総支配人 Mr. Wolfgang Krueger

シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル

総支配人 長田 明 様

ザ・ペニンシュラ東京

副総支配人 Mr. Marc Handl

株式会社オータパブリケイションズ

常務取締役 Mr. Lloyd S. Nakano

ホスピタリティツーリズム専門学校

校長 東條 仁英 様

者が多いためでの価値ある優秀賞獲得でした。この大会は、全国語学ビジネス観光教育協会などの主催、文部科学省などの後援で毎年12月上旬に行われているものです。



## “全員参加の海外研修旅行”

～世界の各地へ、870名が6か国9都市を訪問、見聞を広める～  
2010年12月9日から、19グループに分かれて実施

恒例の全員参加による海外研修旅行が、昨年12月9日から今年の2月21日にわたり、870名が7コースに分かれて実施されます。第1陣として、昨年12月に夜間部1年生174名が、マレーシアの首都クアラルンプールを訪れ無事に帰国致しました。

年明けからは学年、昼夜間部別に、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど6か国、9都市を訪れ国際的なサービスを感じるなど貴重な体験をすることになります。

\*詳細は次号(2011年6月発刊)に掲載いたしますのでご覧ください。



昼間部1年生(1月11日～2月2日)

“マレーシア コース” 5泊7日(参加者:272名)

[コタキナバル→クアラルンプール]

夜間部1年生(2010年12月9日～20日)

“マレーシア クアラルンプール コース”

3泊5日(参加者:174名)

昼間部2年生(1月21日～2月14日)

“ヨーロッパ コース” 9泊11日(参加者:175名)

[ミラノ→ジュネーブ→パリ]

昼間部2年生(2月1日～2月18日)

“アメリカ コース” 9泊11日(参加者:89名)

[ラスベガス→アナハイム→ワイキキ]

昼間部2年生(1月29日～2月21日)

“メルボルン 短期留学コース”

24日間(参加者:34名)

夜間部2年生(1月31日～2月4日)

“ハワイ コース” 3泊5日(参加者:46名)

夜間部2年生(1月21日～2月3日)

“パリ コース” 4泊6日(参加者:80名)

## 「恒例の体育祭を開催」

～踊る大走者戦、やつらをサービスせよ!!  
あれ? 今日、早番ですか??～

11月2日、2年生全員による、恒例の体育祭が建設中の“東京スカイツリー”が間近で見られる「台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場」において盛大に行われました。

今年度は～踊る大走者戦、やつらをサービスせよ!! あれ? 今日、早番ですか??～をテーマに、各クラスで作った様々なTシャツを着て各競技に熱戦を繰り広げました。そして、年々盛んになる応援合戦にも力が入り、クラスの特色を生かしたダンスや演出で大いに盛り上りました。15種目で競い合われた勝敗は最後までもつれる大接戦の末、2年Eクラスの優勝で無事終了しました。



★優 勝：昼間部ホテル科 2年Eクラス  
★準優勝：昼間部ホテル科 2年Fクラス



## 国際ホテルマネジメント専科(1.5年制)

～第7期生12名、感激の巣立ち～



10月14日「ホテルオークラ東京」において国際ホテルマネジメント専科第7期生の卒業式が行われました。今年は、大学とのダブルスクール、既に大学を卒業している人、ホテル業界を志す人など様々な経験の12名が旅立ちました。

社会情勢が厳しい昨今、卒業後の荒波は大変なことと思われますが、社会を変える意気込みで頑張ってください。



## “クラブ活動たより”

### 「カクテル同好会」

～長野、野辺山高原で合宿～

10月16日～17日、カクテル同好会恒例の秋合宿が長野県の野辺山高原で行われました。

当日は卒業生を含む45名が参加、1泊2日をバーボールや焼肉ディナーなどで楽しみ、また、参加した10名の卒業生を囲んで就職の相談なども出来る有意義な合宿となりました。

また、10月19日、椿山荘のレストラン「カメリア」で勉強会を行いました。当日は、25名が参加、日本ホテルスクールの学生の為に用意頂いた特別メニューを利用して、食事のサービスについて学びました。なお、この勉強会は毎年、ホテル・レストランにご協力頂き食材を学びながら行っています。



### 「レストラン研究会」

～ホテルニューオータニで開催～



レストラン研究会では、秋のイベントとして、ホテルニューオータニの「VIEW & DINING THE SKY」で和洋中のランチブッフェ試食会を実施 16名が参加しました。シェフが目の前で調理してくれる評判の料理に大満足しました。

当日は、試食後にスイートルームの見学、そして、最高級フランス料理レストラン「トゥールダルジャン」を見学し、その雰囲気と豪華さに圧倒される充実した1日となりました。

(10月8日)

### 「フットサル同好会」

～軽井沢で初めての合宿～

昨年新設したフットサル同好会もいよいよ2年目を迎えます。

昨年の活動実績は、月1回程度、練馬区の体育館を借りて練習をしています。7月末には、東京ドームで行われた「ホテルリーグ」への参加。10月の連休には、同好会初の合宿を行いました。同好会部長のご実家が経営する軽井沢のペンションに宿泊し、みっちり練習に励みました。

11月末には、「KAMOカップ」というサッカーショップが主催するリーグ戦へも参加しました。次年度はチーム新体制に向けてますます精力的に活動をしたいと思っております。





## 楽しく学ぶ授業「ホスピタリティ実務」 ～お客様の期待を超えるサービスをテーマに～



本校の専門科目「ホスピタリティ実務」は、昼間部、夜間部の2年生を対象に「お客様の期待を超えるサービス」をテーマに実施されています。先生方の他にも、ホテル・ブライダル業界で活躍する卒業生や企業の専門家が実技講義を担当し、学生たちは毎回の授業を楽しみにしています。

### 「カクテル講座」 ～山本 豊和氏が特別講師～

毎年恒例の「カクテル講座」、本年も卒業生山本 豊和さん（ザ・プリンス パークタワー東京）を講師にお迎えして、カクテルの技法、シェーク、ステア、ビルド、ブレンドをプロの実演を通して学びました。

そして、カクテルが出来上

がると全員から拍手が起きました。



### 「ワイン講座」 ～ソムリエの川上 忠道先生～

ワインの特徴、味の表現方法などを学びました

誰もが絶対にワインに興味を持ってしまうホテルスクール人気のワイン講座。甘口のデザート白ワインから、赤ワインまで、色、香、味などの楽しみ方、ワインの特徴、味の表現方法など実際の試飲を通して体験します。全員が先生のトークや試飲方法にくぎ付けになる講座です。



### “ザ・リッツ・カールトン東京”副総支配人が特別授業講師として来校 ～英語専攻科の2年生に特別講義を実施～

10月19日、英語専攻科の授業充実と、学生の意識、満足度向上のために、ザ・リッツ・カールトン東京副総支配人（料飲担当）Radu Cernia 氏を特別講師にお招きして、料飲レストラン実務の授業を実施しました。今回のテーマは「朝食サービス」でその手順だけでなく、お客様とのコミュニケーションの重要性についてお話をありました。授業を受けた学生は、リツ・



### 1年生の恒例行事“勝沼巡り” ～ワインの醸造過程を学びました～

1年生対象の恒例行事「日本一のぶどうの産地を見学する勝沼巡り」が昼夜間部3日間にわたり実施されました。ワイン造りで長い歴史と伝統を誇る山梨県勝沼市を訪れワイナリー工場を見学、初めて目の当たりにする醸造過程など、係員の説明を聞きながら熱心に見学しました。

将来、ホテル・ブライダル・レストラン業界を目指す学生にとって貴重な体験となりました。また、ぶどう狩りも楽しむなど学校を離れて、クラスの親睦を深める楽しい一日となりました。



### 授業内容

- ◇車椅子介助講座
- ◇パーティコーディネート講座
- ◇ワイン講座
- ◇デザートデコレーション講座
- ◇チーズ講座
- ◇ハーブ&スパイス講座
- ◇食育講座
- ◇ワゴンサービス講座
- ◇リフレクソロジー講座

### 「ハーブ&スパイス講座」 ～S B食品より、特別講師～

には各自が配合したハーブティーを試飲しました。

ハーブ&スパイス講座。（エスビー食品株式会社）様々な料理に使用されているスパイスをクイズ形式で学んだり、実際にフレッシュなハーブを触ったり、食したりしながら、その効果や使い方を学習しました。後半



### 「チーズ講座」 ～チーズのことなら斎藤 彰先生～

ホテルスクール恒例の講座のひとつ。プロセスチーズとは



違う、ホテル、レストランで多く扱われている非加熱のナチュラルチーズを6タイプ10種類比較しながら実際に口にしました。白カビ、青カビのチーズを含め、それぞれの作り方、アレンジ方法、レストランでの提供の仕方を学びました。

ナチュラルチーズについて学びました

カールトンのサービスを目の当たりにして感嘆の連続でした。そして、学生も流暢な英語で質問したり積極的にゲスト役をこなすなど充実した授業となりました。

また、12月13日には、ザ・リッツ・カールトン東京のホテルマネージャー Christopher Clark 氏と人材開発部マネージャー曾根奈美子氏が来校、英語専攻科2年生クラスの特別講義を行いました。講義内容は、仕事をする上で必要な(1)チームワーク(2)プランニング(3)組織(4)仕事の理解などをゲーム形式で学生とコミュニケーションをとりながら説明されるなど幅広いものでした。

### “ホノルルマラソン2010” ～シアトル留学中の学生15名が参加～

第38回JALホノルルマラソン2010が、12月12日（日）にハワイオアフ島、ホノルルで開催され、本校のアメリカ留学制度でシアトルに留学中の学生15名が参加しました。

当日は午前5時、満天の星空のもと、花火の合図とともにスタート。JHSのオリジナルTシャツ姿の15名は全員が見事に完走いたしました。

本校の学生がこのホノルルマラソンに参加したのは、1997年からで参加した学生の総数は132名にも及びます。

このマラソン参加が欠かすことなく継続して行くには、今年もホノルルマラソンの引率をして下さった、ニールコロドナー先生の事前計画・ご指導無くしては成し得ないと感謝したいと思います。

△歴代のベストタイム：2009年 五十嵐裕紀君 3時間53秒34  
2002年 平泉亜希子さん 4時間36秒14



見事完走、左から、  
鈴木栞さん、小川美和さん、武田靖子さん

# ～JHS同窓会便り～

## 第38期生 同窓会理事が誕生しました ～石塚校長より、11名に委嘱状～

38期生の同窓会理事の任命式が12月14日に行われ、11名の新理事が誕生し石塚校長から委嘱状が手渡されました。新理事の皆さん同窓会の活性化にご尽力ください。



特に今年（2011年）は創立40周年記念として大規模な全体同窓会が開催されますので同級生のまとめ役を宜しくお願ひいたします。



### 2010年度 第38期生 同窓会理事一覧

クラス	氏名	内定先
A	杉山 みゆ	リーガロイヤルホテル東京
B	長谷川 達也	庭のホテル
C	近藤 麗奈	アメリカホテル研修生
D	奥条 彩夏	富士屋ホテル
E	石黒 翔	京王プラザホテル
F	小野田 太陽	グランドハイアット東京
L	鹿野 真美 ジュニ	富士屋ホテル
G	一二三 大貴	ひだホテル
H	富永 海平	スイスホテル研修生
I	福田 恵	㈱HUGE
K	須永 圭一	ホテルムーンビーチ

## ～各界各地で大活躍のJHS卒業生～

### “IT教材販売会社で法人営業部長”

～富田佐知恵さん（1999年卒業）～

富田佐知恵（旧姓＝大迫）さんは、1999年JHS卒業、ヒルトン研修生で渡米、ヒルトンホテル本社でマーケティング業務を体験、帰国後、海外ホテル代理店を経て、2002年から現在の㈱アイティックに勤務。IT企業向けに研修を提案し、情報処理技術者試験対策の教材販売が仕事。「新しい分野でしたが、チャレンジする精神で一生懸命やっていたら、トップセールスの実績を上げ、法人営業本部で部長を拝命してしまいました。ホテルの仕事で、相手の気持ちが良く分かること、何でもあきらめないことを学びました。これが今につながっています。」と語ってくれました。



### “中国で学生1万人学校の校長”

～陸 紅専氏（1990年卒）～



陸 紅専氏は、1990年JHSを卒業、帰国後、旅游局北京支部長、ホテル会社の社長などを歴任、さらに経済特区に指定された海南島の観光開発チームの一員として赴任、旅游局、教育庁関係の仕事に従事して海南省の教育に尽力、現在は、海南省農機学校／海南省科技学校の校長を務めています。

「先生、成功しました。現在、学生数も10000名を超え、中国全体のモデル校となり、北京で胡錦濤国家主席、温家宝首相から表彰を受けました。」と連絡してきました。

### “インドネシア・バリ島でスパ事業”

～周 材光氏（1983年卒）～

ヘリアント・チャヒヤディ氏（周 材光氏1983年卒）はJHSを卒業後、インドネシア・バリ島観光を主体とした旅行会社で活躍、その後、スパ事業の草分け的存在として事業に取り組み、スパの普及、人材育成、コンサルタントに従事。日本においては、2002年5月、インドネシア政府バリ州認定校として、シエスタ・スパ・アカデミーの創設に尽力するなど、スパ事業においてインドネシア、日本両国の架け橋となり活躍しています。



### “現在、准教授として人材育成に”

～ノーマン・アギラー氏（1976年卒）～

ノーマン・アギラー氏は、グアム政府派遣留学生として来日、1976年JHS卒業、帰国後ホテル経験を積みながら、大学でMBAも取得、現在、グアム・コミュニティ・カレッジで准教授を勤めています。「日本での経験がホテル業界への開眼の機会となっています。」と感想を述べられました。（Mr. Norman Aguilar、MBA、CHE、Assistant Professor、Guam Community College）



### “ロッテホテルでセールス・マネジャーを”

～キム・ジャエ・ジャンさん（1988年卒）～

キムさんは、1988年JHS卒業、帰国後、ロッテホテル・ソウルで、長年、総支配人秘書をしていました。近年、販売部門へ異動、セールス・マネジャーとして活躍しています。

「ソウルは、宿泊需要が多く、部屋を取るのが大変、売り手市場になっていますが、旅行会社と良好な関係を保つため、秘書時代とは違った努力をしていますよ」と心境を語ってくれました。





# 財団ニュース

「財団法人日本ホテル教育センター」

## 【MICE塾】を開講、5月から全17回

～ホテル業界活性化のためのMICE人材育成プログラム～

昨秋、横浜で実施された「アジア太平洋経済協力会議（APEC）」に代表される国際会議の開催件数を平成23年までに5割以上増やすことを目標として、観光庁は昨年度を“Japan MICE Year”と定め本計画を推進中です。MICEとは、ミーティング（M：会議）、インセンティブ（I：報奨宴会）、コンベンション（C：国際会議）、イベント（E：展示会）の総称で、これらのマーケットはホテル産業活性化の起爆剤と言われています。

一方で、日本はその経済力や文化度と比較すると、MICEの誘致にやや立ち遅れた感があり、その原因の一つが“MICE人材



の不足”と言われています。そこで、当財団は教育事業を通じた“MICE人材育成”によって観光庁の施策を支援するために、MPIジャパン会長の浅井新介氏を塾長に迎え、来る5月に“MICE塾”を開講します。国策と連動して産業活性化を目指す当塾に皆様ご期待ください。

### ◆MICE塾 年間カリキュラム（全17講義）◆

- 5-6月（計3回） 基本理解（ABC of MICE）
- 7-8月（計3回） 市場理解と参入（Marketing）
- 9-10月（計4回） 案件獲得（Sales）
- 11-12月（計3回） 効果的な実施策（Operation）
- 1-2月（計4回） まとめ（Wrap-Up）

財団法人日本ホテル教育センター 事業部 藤原弘一  
E-mail : juku@jec-jp.org TEL 03-3367-5663

### 「ホテル産業経営塾」

## 創立10周年記念セミナーを開催

～新生、ザ・キャピトルホテル東急にて～

「ホテル産業経営塾」創立10周年記念セミナーが、11月4日にザ・キャピトルホテル東急で開催されました。冒頭で、田中勝塾長が「10年続けてこられたのは、事務局、塾講師、関係者すべての方々のご支援があったからこそだと感謝しております。」と挨拶。続いて、ザ・キャピトルホテル東急 総支配人の富樫進氏から「和、もてなし、

安らぎ、都会の隠れ家」というコンセプトをもとにした開業秘話をお話いただきました。

卒塾生の中には、卒塾後、総支配人に就任した者、ホテルコンサルティング会社のキーマネジメントに転身した者、ホテルの再生を成し遂げた者、複数のホテルの売り上げを管理するレベニューディレクターに就任した者等々、既に各分野で業界の中堅に参画しつつあります。今後は、2百数十名を数える卒塾生ネットワークの活用にも力を置き、業界を活性化していく事が期待されています。



式典にご参列の皆様

### アメリカの姉妹校ポールスミスカレッジから

## ～単位互換について意見交換、特別授業を実施～

1972年の本校開校以来、姉妹校関係にある“ポールスミスカレッジ”から、准教授ら3名が来校、姉妹校関係の継続の確認など意見交換を行いました。“ポールスミスカレッジ”はアメリカニューヨーク州北部の大自然の中に位置する私立大学で、全米及び諸外国から学生が集い約1000名の学生がホスピタリティ、マネジメント、ビジネスなどを学んでいる大学です。

本校からは今までに17名の学生が留学しております。当日は、本校の国際ホテル英語専攻科の学生に対して、大学の紹介等

の特別授業を実施し、学生は真剣な姿勢で授業に臨んでいました。



大学の紹介など、特別授業を受けました

# トピックス

### “スコール世界大会”シドニーで開催

～70か国から集う、石塚校長が参加～

10月7日～12日、第71回「スコール世界大会」がシドニーで開催され、約70か国550名の観光業界人が参加しました。正式団体名は「SKAL INTERNATIONAL」。本部をスペインに置き、約90か国、2万人の会員を持つ世界最大級の民間国際団体で、日本には150名ほどの会員がおります。

なお、今回は日本から、本校の石塚校長を含む4名が参加し世界各地からの参加者と親密な交流を図りました。



### “JATA世界旅行博2010”

～JHS全学生も見学～

9月18日～20日、東京ビックサイトで開催された「JATA世界旅行博2010」を、JHSの学生が見学しました。世界から151か国・地域の政府観光局、航空会社、企業・団体が出展、約11万人が来場するアジア最大級規模のものとなりました。

学生には、各国の文化や習慣に触れ、ホテルや旅行などがグローバルな規模で展開されていることを実感し、最新情報が得られる絶好の機会となりました。



### スイスのホテル学校から来校

～連携・協力など意見交換～

10月5日、スイスのホテル学校「Swiss School of Tourism and Hospitality」から、Mr.Santhosh MrinaliniとMs.Lavanya G Rが来校し、意見交換、施設の見学を行いました。同校は創立44年目を迎えるホテル学校で、世界45か国からの学生が学んでいます。意見交換後の感想として「日本のおもてなし、サービス水準は大変素晴らしい、今後は日本ホテルスクールと良好な関係を築いて行きたい」と話されておりました



江口幸先生から施設の説明を受けるお二人